

令和 6 年度 東小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

○教育目標 心身ともに健康で，創造力，実践力に富み，自主的精神に満ち，国際社会に貢献できる個性豊かな日本人を育成する。

○目指す児童像

なかよく	かしこく	たくましく	がんばる
豊かな心を持ち 思いやりのある子	自ら考え 進んで学ぶ子	素直で明るく 健康な子	気力をひめ， 精いっぱいがんばる子

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

「共に学ぶ楽しさ，共に伸びる喜びを味わえる学校～笑顔が輝き笑顔がつながる東小～」

「一人を大切に」「多様性と人権」を学校経営の基盤に，家庭・地域と連携・協働する。

【目指す学校像】

- ・安全・安心な環境で，活気にあふれ笑顔が輝く学校
- ・学ぶ楽しさを大切に，子供と教師が共に育つ学校
- ・地域と共に歩み，笑顔がつながる学校

【目指す教師像】

- ・使命感と教育愛にあふれ，ワークライフバランスを図りながら高い指導力をもつ教師
- ・子供に寄り添い，共に学び共に伸びる教師
- ・子供・保護者・地域から信頼され，チームとして協働する教師

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- （１）多様な視点から自他のよさを認め生かし合う指導の充実に努める。
- ① 基本的な生活習慣の育成
 - ② 自他のよさを認め生かし合う集団づくり
 - ③ いじめ・不登校等の未然防止と組織的対応
 - ④ 情報モラル・デジタルシティズンシップ教育の推進
- （２）ＩＣＴや特別支援教育の視点を活用し，自ら考え共に学び合う指導の充実に努める。
- ① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
 - ② 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な推進
 - ③ 読書の量と質を高める活動の充実
 - ④ 家庭学習の習慣化
- （３）体力・健康・食育・安全の視点から，心身のたくましさを育む指導の充実に努める。
- ① 自ら体力を高めようとする態度や能力の育成
 - ② 健康教育の推進
 - ③ 食育指導の充実
 - ④ 危険予測・回避能力の育成
- （４）キャリア教育や総合的な学習の時間，特色ある教育活動を通して，自ら課題を解決しようとする指導の充実に努める。
- ① 目標に向かって粘り強く努力する機会の充実
 - ② 全校で取り組む百人一首の充実
 - ③ 教科横断的な資質・能力の育成
- （５）家庭・地域とともに子供を育む教育活動を推進する。
- ① 家庭・地域との連携・協働の推進
 - ② 学校や地域への誇りや愛着等を育む活動の推進
 - ③ 陽北地域学校園における小中一貫教育の充実
- （６）持続可能な運営体制と教育環境づくりを推進する。
- ① 勤務時間の管理と業務の適正化・効率化
 - ② 安全で清潔，整理された教育環境の整備
 - ③ 教育予算の効果的な活用

【陽北地域学校園教育ビジョン】

学びあい 認めあい 高めあう 陽北地域学校園 ～人と人との豊かなかかわりを通して～

◎最重点目標：互いのよさを認め合い，共に伸びる喜びを味わえる集団づくり

4 教育課程編成の方針

- (1) 日本国憲法、教育基本法、学校教育法、小学校学習指導要領等の教育関係諸法令、並びに栃木県教育振興計画及び第2次宇都宮市学校教育推進計画（後期計画）、令和6年度指導の重点等に従い、本校の教育目標の達成を期するように編成する。
- (2) 児童の発達段階や各教科等の特性、学習指導要領の趣旨を生かし、教科横断的な視点から知・徳・体の調和のとれた人間性豊かで自ら学び考えるなど、生きる力を身に付けた児童の育成を目指す。
- (3) 教育活動全体を通して言語活動の充実に努めるとともに、効果的なICTの活用を図る。またキャリア教育やSDGsとの関連を図り児童の主体性や協働性を育む。
- (4) 家庭や地域、地域学校園等との連携を図り、それぞれの教育力を生かした教育課程を編成する。
- (5) カリキュラム・マネジメントの視点から、各種調査や振り返り等を活用し、短期・中期的に教育課程に関する評価・改善を行い、教育活動の質の向上と業務の適正化・効率化を図る。

5 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

- (1) 学校運営
 - ・児童や保護者、教職員にとって、安心・安全な教育環境、職場環境づくりに努める。
 - 言語活動の充実やICTの活用、教師のファシリテーション力の向上に努める。
 - 特別活動やキャリア教育、地域との連携等を通して児童の主体性や協働性を育む。
- (2) 学習指導
 - ・自分の思いを伝え合い、考えを深めることができる児童の育成
 - 学習の基盤となる態度や習慣の育成と、対話的で深い学びを通した「思考力・判断力・表現力等の育成」
- (3) 児童生徒指導
 - 互いのよさを認め合い、共に伸びる喜びを味わえる集団づくり
- (4) 健康（体力・保健・食育・安全）
 - 運動に親しもうとする態度や能力の育成

6 自己評価 A1～A20は市共通評価指標 B1～は学校評価指標（小・中学校共通、地域学校園共通を含む）

※「主な具体的な取組の方向性」には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※【達成状況】の欄において「達成した。」は、全ての評価対象者で数値指標を達成している場合。「おおむね達成した。」は、一部の評価対象者の数値が指標を達成していないが、各々の指標に近いもの。

第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画基本施策	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価 ※ 肯定的割合の数字の斜体は数値指標に達していないものを示す。										
1- (1) 豊かな学力を育む教育の推進	A1 児童は、他者と協力したり、必要な情報を集めたりして考えるなど、主体的に学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート肯定的割合 ⇒教・保・児 90%以上	① 問題意識の醸成を図ったり、授業のめあてを確認・提示したりして、児童が進んで学習に取り組めるように工夫する。 ② 見通しをもって学習や活動を進めさせる工夫や、 <u>学びあいの場の設定の工夫</u> をして、積極的に授業に関われるようにする。	B	【達成状況】 <table border="1"> <tr> <th></th><th>児</th><th>教</th><th>保</th><th>地</th></tr> <tr> <td>肯定的割合</td><td>88.5</td><td>100.0</td><td>92.8</td><td></td></tr> </table> ・数値指標をおおむね達成した。特に、保護者の肯定的割合は、昨年度より9P以上高かった。 【次年度の方針】 ・今年度の取組を継続する。		児	教	保	地	肯定的割合	88.5	100.0	92.8	
	児	教	保	地										
肯定的割合	88.5	100.0	92.8											
1- (2) 豊かな心を育む教育の推進	A2 児童は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート肯定的割合 ⇒教・保・地・児 90%以上	① 道徳、学級活動、帰りの会の「ほめほめタイム」などを通して、互いのよさを認め合う心を育てる。 ② 異学年間のふれあいの充実を図るために、学校行事・児童会・キッズタイム等の活動を工夫する。 ③ Q-U（3年生～6年生）及びアンケート（1年生、2年生）をもとに教育相談を実施し児童の考えや悩みを適切に捉え、指導にあたる。	B	【達成状況】 <table border="1"> <tr> <th></th><th>児</th><th>教</th><th>保</th><th>地</th></tr> <tr> <td>肯定的割合</td><td>90.1</td><td>100.0</td><td>96.6</td><td>100.0</td></tr> </table> ・数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・今年度の取組を継続する。キッズタイムについては、より効果的な活動となるように内容や活動時間を検討していく。		児	教	保	地	肯定的割合	90.1	100.0	96.6	100.0
	児	教	保	地										
肯定的割合	90.1	100.0	96.6	100.0										

	A 3 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート肯定的割合 ⇒教 80%以上 ⇒保・児 90%以上	① 教科学習や特別活動等の様々な場面で、児童一人一人にめあてを持たせ、指導し、それを評価させたり称賛しあったりさせることで、最後までがんばる心を育てる。 ② 校内百人一首大会・ドッジボール交流会・長なわ跳び大会等の場を活用して、めあてに向かって努力し最後までがんばる心を育てる。 ③ 児童一人一人のがんばりを、保護者に理解してもらえるよう、各種により、HP等で伝えていく。	B 【達成状況】 <table><tr><td></td><td>児</td><td>教</td><td>保</td><td>地</td></tr><tr><td>肯定的割合</td><td>87.9</td><td>100.0</td><td>86.8</td><td></td></tr></table> ・児童と保護者の数値指標は達成していないが、ともに 85%以上の数値である。 【次年度の方針】 ・今年度の取組を継続する。		児	教	保	地	肯定的割合	87.9	100.0	86.8	
	児	教	保	地									
肯定的割合	87.9	100.0	86.8										
1ー(3) 健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進	A 4 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 全体アンケート肯定的割合 ⇒教・保・地・児 90%以上	① 「陽北地区一斉食事マナー強化月間」を実施し、食事マナーの意識高揚を図る。 ③ 委員会活動の内容を工夫し、児童が主体的に食事や健康への意識を高められるようにする。 ② 「自分の命は自分で守る」意識をもたせ実践的な各種避難訓練を実施するとともに、地域・保護者と連携した登下校指導を行い、日々安全に気を付けた生活ができるよう指導する。	B 【達成状況】 <table><tr><td></td><td>児</td><td>教</td><td>保</td><td>地</td></tr><tr><td>肯定的割合</td><td>92.3</td><td>94.1</td><td>93.4</td><td>90.9</td></tr></table> ・数値指標を達成した。特に児童と教職員の肯定的割合は昨年度より 5P 以上高かった。 【次年度の方針】 ・今年度の取組を継続する。		児	教	保	地	肯定的割合	92.3	94.1	93.4	90.9
	児	教	保	地									
肯定的割合	92.3	94.1	93.4	90.9									
1ー(4) 将来への希望と協働する力を育む教育の推進	A 5 児童は、自分のよさや成長を実感し、協力して生活をよりよくしようとしている。 【数値指標】 全体アンケート肯定的割合 ⇒教・児 90%以上	① 各クラスで「ほめほめタイム」を行うことで、児童一人一人が互いのよさを認め合えるようにする。 ② 「さわやかカード」のプレゼントや「さわやか東小」の表彰を通して、多様な人や視点によるよさを認め、励まし伸ばしていく。 ③ 「キッズ班（縦割り班）」による清掃や遊びなどを通して、協力しあう心を醸成する。	B 【達成状況】 <table><tr><td></td><td>児</td><td>教</td><td>保</td><td>地</td></tr><tr><td>肯定的割合</td><td>85.2</td><td>94.1</td><td></td><td></td></tr></table> ・児童の肯定的割合は、数値指標を達成していないが昨年度よりやや増加した。 【次年度の方針】 ・今年度の取組を継続する。 ・児童の自己肯定感が高まるような声掛けを積極的に行っていく。		児	教	保	地	肯定的割合	85.2	94.1		
	児	教	保	地									
肯定的割合	85.2	94.1											
2ー(1) グローバル社会に主体的に向き合い、郷土愛を醸成する教育の推進	A 6 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 全体アンケート肯定的割合 ⇒教・児 90%以上	① A L T を効果的に活用し、英語でのコミュニケーションに親しむ機会の充実を図る。 ② 外国語担当教諭が中心となって、校内研修を開催し、教職員の資質向上を図る。	B 【達成状況】 <table><tr><td></td><td>児</td><td>教</td><td>保</td><td>地</td></tr><tr><td>肯定的割合</td><td>81.9</td><td>94.1</td><td></td><td></td></tr></table> ・児童の肯定的割合が昨年度より 4P 以上低かった一方、教職員の肯定的割合は、6P 近く高かった。児童と教職員との状況認識にずれが大きい。 【次年度の方針】 ・今年度の取組を継続する。		児	教	保	地	肯定的割合	81.9	94.1		
	児	教	保	地									
肯定的割合	81.9	94.1											
	A 7 児童は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 全体アンケート肯定的割合 ⇒教・児 90%以上 ⇒保 80%以上	① 生活科や社会科、総合的な学習の時間（宇都宮学）等で、身近な地域の良さを踏まえ、市全体の特徴を捉えられるよう学習活動を工夫していく。 ② 全校体制で校内百人一首に取り組み、児童が「校内百人一首大会」や「うつのみや百人一首市民大会」に参加することで、宇都宮市にゆかりの深い百人一首に親しむとともに、日本語の響きやリズムに親しませる。	B 【達成状況】 <table><tr><td></td><td>児</td><td>教</td><td>保</td><td>地</td></tr><tr><td>肯定的割合</td><td>81.9</td><td>88.2</td><td>77.0</td><td></td></tr></table> ・肯定的割合は児童・教職員、保護者とも数値指標に達していない。アンケートの時期と宇都宮を取り扱う授業の時期がずれていることが要因のひとつとして考えられる。 【次年度の方針】 ・今年度の取組を継続する。特に、百人一首については本校の大きな特色であるので、その指導と関連させて宇都宮のよさを伝えていく。		児	教	保	地	肯定的割合	81.9	88.2	77.0	
	児	教	保	地									
肯定的割合	81.9	88.2	77.0										

2- (2) 情報社会と 科学技術の 進展に対応 した教育の 推進	A 8 児童は、デジタル機器 や図書等を学習に活用し ている。 【数値指標】 全体アンケート肯定的割合 ⇒教・保・児 90%以上	① 各教科、領域において、パソコン やインターネット等を効果的に活 用した授業実践に取り組む。 ② 担任と図書館司書が連携して学 習に必要な本を用意したり、調べ学 習の場を工夫したりして、児童の学 びを深める。 ③ 図書館だよりで児童の読書活動 の様子を紹介したり、ファミリー読 書を推奨したりして、家庭との連携 を図る。 ④ 地域学校園で図書館だよりを発 行する。	B 【達成状況】 <table><tr><td></td><td>児</td><td>教</td><td>保</td><td>地</td></tr><tr><td>肯定的割合</td><td>91.8</td><td>100.0</td><td>88.9</td><td></td></tr></table> ・数値指標をおおむね達成した。 【次年度の方針】 ・今年度の取組を継続する。 ・1人1台端末の活用頻度は、他調査に よると市内平均より上回っている。デ ジタル機器と図書等の特性を踏まえ バランスにも考慮して活用していく。		児	教	保	地	肯定的割合	91.8	100.0	88.9	
	児	教	保	地									
肯定的割合	91.8	100.0	88.9										
2- (3) 持続可能な 社会の実現 に向けた担 い手を育む 教育の推進	A 9 児童は、「持続可能な社 会」について、関心をも っている。 【数値指標】 全体アンケート肯定的割合 ⇒教 80%以上 ⇒児 85%以上	① わくわくタイムの学習を通し、身 近な自分の生活と持続可能な社会 との関わりを考えさせるなどして、 福祉や環境、異文化交流への関心を 高める。 ② 社会科や理科、環境教育をととし て、水や電気を大切にしたり動植物 を思いやりたりする心を育てる。	B 【達成状況】 <table><tr><td></td><td>児</td><td>教</td><td>保</td><td>地</td></tr><tr><td>肯定的割合</td><td>89.6</td><td>76.5</td><td></td><td></td></tr></table> ・児童の肯定的割合が高いのに対し、教 職員の割合が低い傾向は昨年度同様 であったが、教職員の肯定的割合は昨 年度より 10P 以上高かった。 【次年度の方針】 ・今年度の取組を継続するとともに、関 連する学習においては引き続き意識 的に授業を行うようにする。		児	教	保	地	肯定的割合	89.6	76.5		
	児	教	保	地									
肯定的割合	89.6	76.5											
3- (1) インクルー シブ教育シ ステムの充 実に向けた 特別支援教 育の推進	A10 教職員は、特別な支援 を必要とする児童の実態 に応じて、適切な支援を している。 【数値指標】 全体アンケート肯定的割合 ⇒教 90%以上	① 「ケース会議」や「校内支援委員 会」を通して教職員間の情報共有を 図るとともに、学級間の情報交換を 密にして広く児童理解に努め、組織 的に児童の支援に当たる。 ② 日常的に児童一人一人のニーズ や悩みを把握し、必要に応じて関係 機関との連携を行うなどして、個に 応じた支援を展開する。	B 【達成状況】 <table><tr><td></td><td>児</td><td>教</td><td>保</td><td>地</td></tr><tr><td>肯定的割合</td><td></td><td>100.0</td><td></td><td></td></tr></table> ・数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・今年度の取組を継続する。		児	教	保	地	肯定的割合		100.0		
	児	教	保	地									
肯定的割合		100.0											
3- (2) いじめ・不 登校対策の 充実	A11 教職員は、いじめが許 されない行為であることを 指導している。 【数値指標】 全体アンケート肯定的割合 ⇒教・保・地・児 90%以上	① 教育活動全体を通して、児童に 「いじめは決して許されない」こと を指導する。 ② 児童の様子への目配り気配りを 全教職員で行うとともに、家庭や地 域とも連携して実態把握を行い、い じめの未然防止・早期発見・早期対 応に努める。 ③ 「いじめゼロ強調月間」(5月・9 月)に設け、いじめ根絶に努めると ともに、互いに認め合う心を育て る。	B 【達成状況】 <table><tr><td></td><td>児</td><td>教</td><td>保</td><td>地</td></tr><tr><td>肯定的割合</td><td>93.4</td><td>100</td><td>81.6</td><td>83.3</td></tr></table> ・保護者と地域住民の肯定的割合が数 値指標を達成していない。 【次年度の方針】 ・今年度の取組を継続する。 ・いじめの未然防止・早期発見・早期対 応に取り組んでいることを学校だよ りや学校HPで発信し、伝えていく。 ・学校生活アンケートを定期的に実施 し、未然防止・早期発見・早期対応に 努めていく。		児	教	保	地	肯定的割合	93.4	100	81.6	83.3
	児	教	保	地									
肯定的割合	93.4	100	81.6	83.3									
	A12 教職員は、不登校を生 まない学級経営を行って いる。 【数値指標】 全体アンケート肯定的割合 ⇒教・保・児 90%以上	① 児童一人一人が存在感をもち、自 己実現の喜びを実感できる学級経 営を実践する。 ② 欠席状況共有シートの作成によ る、不登校児童・不登校傾向の児童 を共有する。 ③ 担任が児童及び保護者に積極的 にかかわり、普段からの信頼関係づ くりを努めるとともに、SCMのサ ポートやSC、市子ども家庭支援 室、いきいきグループ等の関係機関 との連携を密に行いながら、個に応 じた支援を展開する。 ④ Q-Uやアンケートをもとに教育相 談を実施し、児童の悩みを適切にと らえて指導にあたる。	B 【達成状況】 <table><tr><td></td><td>児</td><td>教</td><td>保</td><td>地</td></tr><tr><td>肯定的割合</td><td>92.9</td><td>100.0</td><td>88.1</td><td></td></tr></table> ・数値指標をおおむね達成した。 【次年度の方針】 ・今年度の取組を継続する。特に不登校 傾向気味の児童については、関係教職 員で情報を共有し、早目早目の対応に 心がける。		児	教	保	地	肯定的割合	92.9	100.0	88.1	
	児	教	保	地									
肯定的割合	92.9	100.0	88.1										

3-（3） 外国人児童 生徒等への 適応支援の 充実	A13 学校は、一人一人が大 切にされ、活気があり、 明るいきいきとした雰 囲気である。	① 外国人児童生徒が安心して学校 生活が送れるように、「日本語指導 教師」との連携に努める。 ② 児童の様子や些細な変化を見逃 さず、一人一人の状況に応じた対 応・支援に努める。 ③ 学校教育のあらゆる場面を通し て、児童の道徳意識の高揚や人権感 覚の醸成を図る。	B	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>児</td><td>教</td><td>保</td><td>地</td></tr><tr><td>肯定的割合</td><td>93.4</td><td>100.0</td><td>88.6</td><td>100.0</td></tr></table> ・数値指標をおおむね達成した。 【次年度の方針】 ・今年度の取組を継続する。		児	教	保	地	肯定的割合	93.4	100.0	88.6	100.0
	児	教	保	地										
肯定的割合	93.4	100.0	88.6	100.0										
3-（4） 多様な教育 的ニーズへの 対応の強化	【数値指標】 全体アンケート肯定的割合 ⇒教・保・地・児 90%以上													
4-（1） 教職員の資 質・能力の 向上	A14 教職員は、分かる授業 や児童にきめ細かな指導 を行い、学力向上を図っ ている。 【数値指標】 全体アンケート肯定的割合 ⇒教・保 85%以上 ⇒児童 90%以上	① 学習指導法の工夫・改善（ICT 活用・少人数指導・習熟度やTT学 習・かがやきルームの活用等）を図 り、「分かる・できる・楽しい授業」 を推進する。 ② 朝の学習の時間等において、漢字 や計算の小テストやプリントを実 施して、児童一人一人の理解度を把握し、個に応じた指導に努め、基礎・ 基本の定着を図る。 ③ 主体的・協働的な学びを通して思考力・表現力を育てるために、各教科での指導の在り方について研修を深める。	B	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>児</td><td>教</td><td>保</td><td>地</td></tr><tr><td>肯定的割合</td><td>96.7</td><td>100.0</td><td>90.7</td><td></td></tr></table> ・数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・今年度の取組を継続する。 ・一人一授業公開等を通して互いに授業を見せ合うなど、相互研鑽の機会についても検討していく。		児	教	保	地	肯定的割合	96.7	100.0	90.7	
	児	教	保	地										
肯定的割合	96.7	100.0	90.7											
4-（2） チーム力の 向上	A15 学校に関わる職員全員 がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート肯定的割合 ⇒教 85%以上	① 学校運営の方向性を明確にし、学校運営上の諸事項について、会議や打ち合わせを通して、全職員の共通理解を図り、全校体制で校務の遂行にあたる。 ② 日頃より良好な人間関係づくりに努めるとともに、教職員一人一人の能力、得意分野を生かした組織作りに努め、やりがいをもって仕事ができるような環境を整える。	B	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>児</td><td>教</td><td>保</td><td>地</td></tr><tr><td>肯定的割合</td><td></td><td>94.1</td><td></td><td></td></tr></table> ・数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・今年度の取組を継続する。		児	教	保	地	肯定的割合		94.1		
	児	教	保	地										
肯定的割合		94.1												
4-（3） 学校における働き方改革の推進	A16 勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート肯定的割合 ⇒教 80%以上	① 「働き方改革」を教職員一人一人が意識しながら日々の業務の内容や処理の仕方を精査し、業務の効率化を図っていく。 ② 学級支援事務員を効果的に活用し、効率的に業務を遂行できるようにしていく。 ③ 始業時刻を5分早めるなど、日課を変更し、放課後の時間を確保する。また毎週金曜日はB日課とし、学校リフレッシュデーとする。そのうち月一回はNZD（ノー残業デー）とする。	B	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>児</td><td>教</td><td>保</td><td>地</td></tr><tr><td>肯定的割合</td><td></td><td>88.2</td><td></td><td></td></tr></table> ・肯定的割合は昨年度より17P以上上回って数値指標を達成した。日課の変更をはじめ、「働き方改革」の視点で学校行事等の改善・工夫を行ってきたことが数値として表れていると思われる。 【次年度の方針】 ・今年度の取組を継続する。		児	教	保	地	肯定的割合		88.2		
	児	教	保	地										
肯定的割合		88.2												
5-（1） 全市的な学校運営・教育活動の充実	A17 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 全体アンケート肯定的割合 ⇒教・地・児 90%以上 ⇒保 80%以上	① あいさつ運動等の交流活動を推進し、小中教職員の連携を深めるとともに、児童の中学校入学への不安等の解消を図る。 ② 学力向上、心の教育、健康・体力向上等について小中教職員が協働して系統的な指導を推進できるよう組織、体制を工夫していく。 ③ 小中連携の具体的な取組内容を、その都度学校だよりやホームページで保護者にわかるよう発信していく。	B	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>児</td><td>教</td><td>保</td><td>地</td></tr><tr><td>肯定的割合</td><td>93.8</td><td>94.1</td><td>85.1</td><td>91.7</td></tr></table> ・数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・今年度の取組を継続する。		児	教	保	地	肯定的割合	93.8	94.1	85.1	91.7
	児	教	保	地										
肯定的割合	93.8	94.1	85.1	91.7										
5-（2） 主体性と独自性を生かした学校経営の推進	A18 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充	① 地域協議会との連携・協力を図り、地域人材等を有効活用した学習活動の展開を推進する。		【達成状況】 <table><tr><td></td><td>児</td><td>教</td><td>保</td><td>地</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>		児	教	保	地					
	児	教	保	地										

5-（3） 地域と連携・協働した学校づくりの推進	実を図っている。 【数値指標】 全体アンケート肯定的割合 ⇒教・保・地・児 90%以上	② 「防犯パトロール隊」「民児協」「自治会」「育成会」「老人クラブ」等の各団体との連携・協力を推進する。 ③ 地域の民間企業や公共施設と連携した体験学習や専門家を活用した授業を年間計画に位置付けて実施していく。 ④ 地域人材等を活用した授業を積極的に公開し、保護者や地域に学校の取組を周知する。	B	<table><tr><td>肯定的割合</td><td>87.4</td><td>100.0</td><td>90.5</td><td>91.7</td></tr></table> ・数値指標をおおむね達成した。 【次年度の方針】 ・今年度の取組を継続するとともに、地域協議会と連携し、新たなボランティア人材の発掘に努める。	肯定的割合	87.4	100.0	90.5	91.7										
肯定的割合	87.4	100.0	90.5	91.7															
6-（1） 安全で快適な学校施設整備の推進	A19 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 全体アンケート肯定的割合 ⇒教・保・地 90%以上	① 日常の安全点検を通して、学校の施設・設備等の安全管理を図る。 ② メール配信システムを有効に活用し、児童の安全確保に努める。 ③ 緊急避難時に備え、非常階段や防火扉周辺を整理したり、施設内の危険箇所や異常箇所の修理・改善に迅速に対応したりする。	B	<table><tr><td colspan="5">【達成状況】</td></tr><tr><td></td><td>児</td><td>教</td><td>保</td><td>地</td></tr><tr><td>肯定的割合</td><td></td><td>100.0</td><td>97.5</td><td>91.7</td></tr></table> ・数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・今年度の取組を継続する。	【達成状況】						児	教	保	地	肯定的割合		100.0	97.5	91.7
【達成状況】																			
	児	教	保	地															
肯定的割合		100.0	97.5	91.7															
6-（2） 学校のデジタル化推進	A20 コンピュータなどのデジタル機器やネットワークの点から、授業（授業準備も含む）を行うための準備ができています。 【数値指標】 全体アンケート肯定的割合 ⇒教 80%以上	① 教職員のための GoogleClassroom を設け、教職員同士の資料提供や情報交換が行いやすいようにする。 ② パソコン以外のデジタル機器についても積極的に活用できるような環境を整備する。	B	<table><tr><td colspan="5">【達成状況】</td></tr><tr><td></td><td>児</td><td>教</td><td>保</td><td>地</td></tr><tr><td>肯定的割合</td><td></td><td>88.2</td><td></td><td></td></tr></table> ・数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・今年度の取組を継続する。	【達成状況】						児	教	保	地	肯定的割合		88.2		
【達成状況】																			
	児	教	保	地															
肯定的割合		88.2																	
小・中学校、地域学校共通、本校の特色・課題等	B1 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 全体アンケート肯定的割合 ⇒教・保・児 90%以上 ⇒地 85%以上	① 陽北中学生徒会と連携し、児童会を中心としたあいさつ運動を定期的に実施する。 ② 生活目標に、あいさつに関する具体的なめあてを取り入れ、意識づけを図る。 ③ あいさつ指導の際、あいさつの仕方や地域の方に対するあいさつについても学校生活全体を通して、継続して指導していく。	B	<table><tr><td colspan="5">【達成状況】</td></tr><tr><td></td><td>児</td><td>教</td><td>保</td><td>地</td></tr><tr><td>肯定的割合</td><td>94.0</td><td>94.1</td><td>88.9</td><td>100.0</td></tr></table> ・数値指標を達成した。あいさつ運動や、一斉下校の際の指導が効果を上げていると考えられる。 【次年度の方針】 ・今年度の取組を継続する。 ・教職員が率先してあいさつをする。	【達成状況】						児	教	保	地	肯定的割合	94.0	94.1	88.9	100.0
	【達成状況】																		
	児	教	保	地															
肯定的割合	94.0	94.1	88.9	100.0															
	B2 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 全体アンケート肯定的割合 ⇒教・保・地・児 90%以上	① 基本的な学習態度の習慣化を図るため、地域学校園の学習時のきまり「準備・着席・よい返事」の推進を図る。 ② 児童一人一人のきまりやマナーに対する意識を高めるため、「ひがしの子のやくそく」の推進を図る。また、教職員間で共通理解を図る。 ③ 生活目標の確認と振り返りを継続して行い、児童一人一人のきまりやマナーに対する意識を高めていく。	B	<table><tr><td colspan="5">【達成状況】</td></tr><tr><td></td><td>児</td><td>教</td><td>保</td><td>地</td></tr><tr><td>肯定的割合</td><td>89.0</td><td>100</td><td>93.3</td><td>100.0</td></tr></table> ・数値指標をおおむね達成した。 【次年度の方針】 ・今年度の取組を継続する。 ・教職員が率先垂範する。	【達成状況】						児	教	保	地	肯定的割合	89.0	100	93.3	100.0
【達成状況】																			
	児	教	保	地															
肯定的割合	89.0	100	93.3	100.0															
	B3 児童は進んで運動をしている。 【数値指標】 全体アンケート肯定的割合 ⇒教・保・児 80%以上	① 体育の始業時に「東校サーキット（補強運動）」を全校体制で取り組む。 ② 各種検定（水泳・縄跳び）を設定することで、児童一人一人が目標をもって運動できるようにする。	B	<table><tr><td colspan="5">【達成状況】</td></tr><tr><td></td><td>児</td><td>教</td><td>保</td><td>地</td></tr><tr><td>肯定的割合</td><td>84.6</td><td>94.1</td><td>83.3</td><td></td></tr></table> ・数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・今年度の取組を継続する。	【達成状況】						児	教	保	地	肯定的割合	84.6	94.1	83.3	
【達成状況】																			
	児	教	保	地															
肯定的割合	84.6	94.1	83.3																

B 4 児童は、家庭学習の習慣を身に付けている。	【数値指標】 全体アンケート肯定的割合 ⇒保・児 80%以上	① 宿題や自主学習についての基本的な考え方について教職員で共通理解を図るとともに、学年の発達段階に応じ、家庭学習の内容や量について見直す。	② 学習時間のめやすや学習するときの約束事について、年度当初に家庭に知らせるとともに、学級懇談で家庭学習についての情報交換を行うなどして、家庭と協力体制が取れるようにする。	③ 家庭学習にかかった時間をスタンダードダイアリー等へ記入させたり、自学ノートを展示したりして家庭学習への意欲付けを図る。	④ 毎月 1 日を東小ノーゲームデー親子学習デーに位置付け、家庭と連携して習慣づけを図る。	⑤ 地域学校園内で家庭学習強化旬間を設定し、学年だよりで一斉に啓発を図るなどして地域全体で家庭学習の習慣化を図る。	A	【達成状況】		
								<table><tr><th></th><th>児</th><th>教</th><th>保</th><th>地</th></tr><tr><td>肯定的割合</td><td>76.4</td><td></td><td>63.7</td><td></td></tr></table> ・児童の肯定的割合は、昨年度より 6P 以上下がった。保護者の肯定的割合は、昨年度とほぼ同様である。 【次年度の方針】 ・今年度の取組を継続するとともに、年度当初の啓発だけでなく家庭学習強化旬間に合わせた啓発文をさくら連絡網等で配信するなどして保護者への一層の啓発を図る。 ・また、家庭学習の目的について、児童に説明したり、児童自身に考えさせたりするなど、家庭学習への意欲を向上させる工夫をする。 ・さらに、家庭学習のめあてを発達の段階に応じて立てさせ、その振り返りを行わせるなどして、児童の家庭学習への意識をより一層高める工夫をする。		児
	児	教	保	地						
肯定的割合	76.4		63.7							

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

全体アンケートの肯定的割合を市小学校全体の平均と比較すると、児童は対象となる質問の17項目中16項目で、教職員は22項目中21項目で、保護者はすべての項目で、地域住民は9項目中6項目で、上回るか同程度の数値であった。また、市全体の肯定的割合が低い項目は本校においても同様の傾向が見られた。

本校で設定した数値指標を達成したのは、児童が19項目中11項目、教職員が23項目中22項目、保護者が17項目中9項目、地域住民が9項目中8項目であった。また、評価者すべての指標を達成したものは6項目あった。(A2, A4, A14, A17, A19, B3)

これらのことから、本校児童は、「思いやりの心をもっている。」「健康や安全に気を付けて生活している。」「進んで運動をしている。」「について特に良好な状況と考えられる。また、学校として「分かる授業やきめ細かな指導による学力向上への取組」、「小中一貫教育・地域学校園の取組」、「利用する人の安全に配慮した環境づくり」が特に良好な状況ととらえられる。

7 学校関係者評価

- ・A7について、百人一首はとても熱心に取り組んでいると思うが、宇都宮の中心部で歴史のある地域なのでそれを生かさないのはもったいないと思う。保護者も中学校版「宇都宮学」を一読すると、家族の対話につながるのではないかな。
- ・A9について、住んでいる地域や社会全体の問題に興味をもってほしい。中学・高校・地域社会との係わりをもてるとよい。
- ・A11について、悪口から始まって、手を出してしまうこともあるようだ、友達に対しての思いやりやほめる言葉かけを低学年のうちから育ててほしい。
- ・A18について、教員の働き方改革等による各種行事の見直しに、地域住民が戸惑っている部分もあるのではないかな。

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・次年度も、学校教育目標の具現化に向け、学校・家庭・地域が連携しながら取り組んでいけるよう学校運営を行っていく。

○家庭学習の習慣化については、地域学校園全体の課題として、取組を充実させていく。

- ・百人一首への取組は、「宇都宮のよさ」というだけでなく本校の特色として、持続可能な方法で引き続き取り組んでいく。そのために、次年度は本校独自の評価項目を新たに設定する。